

2025(令和7)年度 実習後授業コマシラバス			
分野	授業科目	担当者	授業形態
専門科目	小児看護学実習Ⅱ	吉本 靖子 池内 和代 翁長 多代子	講義・演習
学年	履修期間	提出物	
2年	9月13日(土)～10月31日(金)	実習後面接授業後レポート 提出期限:履修スケジュール確認【必着】	
【本時のテーマ】 小児の成長発達を理解し、あらゆる健康レベルにある小児と家族に対して行われる看護実践から、自己の技術を振り返り、看護実践能力を強化する。 【本時の目標】 1.小児期にある対象の成長発達における特徴を理解し、家族を含めた個別看護の実際が説明できる。 2.健康障害がある小児の健康レベル、発達段階に応じた援助が説明できる。 3.小児及び家族とのコミュニケーションのあり方が説明できる。 4.対象、医療スタッフとの関わりの中で自己を振り返り、看護観を育むことができる。		【準備物】 1.実習後授業コマシラバス 2.実習後授業資料 3.病院等見学実習日誌 4.事前学習 (3. 4は授業会場にて返却) 5.冊子「実習Ⅱ(病院等見学実習・面接授業)の手引き」 6.オープンセサミ④ 7.iPad	
時間	項目	内容	
10:15 ～ 12:00 (105分)	1時間目 本時の目標1 小児期にある対象の成長発達における特徴を理解し、家族を含めた個別看護の実際が説明できる。	オリエンテーション:本日の目標の確認、課題についての説明 1.実習Ⅰを含めて、小児の成長発達の特徴を理解する 2.臨地実習(追実習)の振り返りができる	
13:00 ～ 14:00 (60分)	2時間目 本時の目標2 健康障害がある小児の健康レベル、発達段階に応じた援助が説明できる。	1.小児看護における看護師の役割 2.小児科外来の機能と看護	
14:10 ～ 15:40 (90分)	3時間目 本時の目標3 小児及び家族とのコミュニケーションのあり方が説明できる。	小児看護学に必要な知識を確認しながら、児と家族のコミュニケーションについて考察する 1.被虐待児と家族への支援 2.救急救命処置が必要な子どもと家族への対応 3.災害時の児と家族への看護 4.感染症と児の看護 5.医療的ケア児の支援	
15:50 ～ 16:20 (30分)	4時間目 本時の目標4 対象、医療スタッフとの関わりの中で自己を振り返り、看護観を育むことができる。	小児看護学実習Ⅰ・Ⅱの内容を振り返る	
16:20 ～ 17:00	まとめ 質疑・応答	レポートテーマは授業会場で確認。 程度の実習後面接授業後レポートを期日内に学校へ提出する。	1600字